

泉丘SSHだより

石川県立金沢泉丘高等学校

「探究の日」を開催しました

対象：普通科・理数科の1・2年生



3月16日（木）に「探究の日」を開催しました。今年度も、講堂での代表グループと各クラスに分かれて全ての生徒が発表する形式で実施しました。さらに、今年度は、発表の他に生徒が企画・運営する場を多く設けました。

発表した全ての皆さん、お疲れ様でした。これまでの研究の成果を十分に発表できましたか？いただいたアドバイスを次回の研究に活かしてほしいと思います。また、講堂行事では10Hの皆さんが司会・進行を、アイスブレイクでは24Hの皆さんが企画と運営をしてくれました。ありがとうございました！

2年生代表グループによる発表

予選を勝ち抜いた2年生の代表グループの発表を講堂で行いました。代表の生徒達はアンケートや実験の結果を示しながら堂々と発表し、質疑応答も時間いっぱいまで行われました。また、今年度は、卒業生が全体の講評を引き受けてくれました。ありがとうございました。

研究タイトル	担当者
普通コース文型代表（21H） 「ASOBO」	砂子阪さん、山口さん、宮村さん 能島さん、得田さん
普通コース理型代表①（25H） 「廃棄牛乳の有効利用について」	宮谷さん、沖津さん、北村さん 塚本さん、殿垣内さん
普通コース理型代表②（29H） 「海洋漂流ゴミの効果的な処理に関する試案」	山本さん、長田さん、東さん 北山さん
SGコース代表（24H） 「シルクを知る、食う。」	丸山さん、唐木さん、坂口さん 寺西さん
理数科代表（20H） 「様々な刺激とモジホコリの成長速度との 相関について」	西島さん、西野さん、藤江さん 船坂さん、宮脇さん



1・2年生全グループによる口頭発表

1・2年生の各発表グループを、学年・クラス・文理をまぜて構成し直した班で活動しました（1班5人）。発表は5回行い、すべての生徒が1回ずつ単独で自分のグループの発表を行いました。各班、身近な問題から疑問を持った点や改善点等を発表し、各班で活発なディスカッションが行われました。



AI課題研究Ⅱ

福井県立藤島高校 SSH交流会支援事業

「Global Science Leadership」に参加しました

対象：理数科の2年生「モジホコリ」研究班

3月18日（土）に福井県立藤島高等学校が主催する「Global Science Leadership」が開催されました。本校から理数科2年生の5名が参加し、英語で発表を行いました。

このイベントは、国際的な研究発表の場を想定し、英語を用いてのプレゼンテーション能力や質疑応答能力を育むとともに、社会的背景の違いによる価値観の相違を理解することを目的としています。今回は、日本および海外における、研究に携わる高校生や教職員が参加し、課題研究の紹介・意見交換を行い、アドバイザーからの助言をいただきました。

本校の生徒達はフィリピンの高校生とZoomを介して交流し、アドバイザーの方からは実験手法や発表をより良いものにするための方法等についてアドバイスをいただきました。



AI課題研究Ⅱ

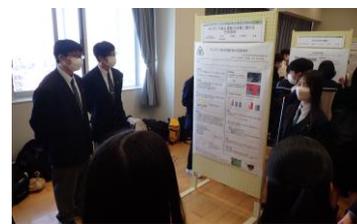
福井県合同課題研究発表会に参加しました

対象：理数科2年生「蛇腹」、「オジギソウ」、「階段」、「アドレナリン」研究班

3月11日（土）に福井県県民ホールで開催された上記の発表会に、本校から理数科2年生AI課題研究の「蛇腹班」、「オジギソウ班」、「階段班」、「アドレナリン班」が参加し、口頭発表およびポスター発表を行いました。

このイベントは福井県立高志高等学校主催の課題研究発表会で、SSH指定校をはじめとする、福井県内の課題研究に取り組む高等学校、および研究活動を行う小学校・中学校が研究発表し、研究交流を行うものです。

本校の生徒達は、分野毎に分科会に分かれ、口頭発表を行った後、ポスター発表を行いました。数年ぶりに他県の高校生と交流することができ、意見交換をする貴重な機会となりました。



CS学際科学「フィールドワークを1年間の課題研究にする方法・実践例」

対象：理数科1年生

3月3日（金）3・4限に、石川県立自然史資料館から桂嘉志浩先生と嶋田敬先先生をお招きし、フィールドワークの手法等についてお話いただきました。また、貴重な標本も持ってきてくださり、休憩時間に様々なエピソードと共に紹介してくださいました。



CS学際科学 卒業生と合同授業を行いました

対象：理数科1年生

3月17日（金）の1限に、今春卒業したばかりの理数科の卒業生に来ていただき、合同授業を行いました。1年生と卒業生がコミュニケーションをとり、ともに活動することで、様々なスキルを学ぶと同時に、2年後の自分の姿をポジティブに想像することができました。また、卒業生の、課題や問題に対するアプローチの仕方を目で見て肌で感じることができ、深い考察力や学習意欲が高まりました。



科学技術コンテスト受賞報告



今年も沢山の受賞報告が届いています！受賞した皆さんおめでとうございます！

物理チャレンジ 優良賞受賞 三輪さん（30H）

日本地学オリンピック 銅賞受賞 池田さん（20H）

科学地理オリンピック 銀メダル受賞 寺西さん（24H）
銅メダル受賞 北澤さん（20H）

第5回日本数学A-lympiad

優良賞受賞 丸山さん（24H） 松川さん（24H）
土坂さん（28H） 笠木さん（22H）



物理チャレンジ 全国大会集合写真
(公益社団法人物理オリンピック日本委員会提供)

物理チャレンジは次年度の募集要項が公開されています。詳細は物理チャレンジのHPを参照してください。
レポート課題「振り子の周期を、振れ角を変えて調べてみよう」